

高尾招待 6年 2位パート優勝

2009年11月22日 会場：狭間グラウンド

担当コーチ 染谷コーチ 小松コーチ
審判部 松島さん

○予選リーグの結果 2位パート進出

第1試合 南八王子 0-0 シルクロード

試合開始から押し気味に進められ、矢島君、諸井君のワンツーに榎本君が絡みシュートまで行きました。攻められてもDF小山君、今川君、國廣君のアプローチ、プレッシャーで相手を自由にさせず、春日君のナイスセーブもあり得点を許しませんでした。

第2試合 南八王子 2-2 船越(横須賀市)

得点者 諸井君 矢嶋君

相手チームはインフルエンザで休みが多く、9名の人数であったが、カウンター攻撃と身体能力の高い選手に手を焼き、思わぬ苦戦をしていましたが、ゲーム全

09・12・5 (土)
南NEWS NO39

体では南のボールポゼッション高く支配していたのですが、押し上げたDFラインを同じ選手に高いスピードで突破され2点取られました。南のシュートチャンスも多くありましたが、クロスバーに当たる、GKとの1対1を阻まれるなど、2得点にとどまりました。5年生以下の試合ではゴールキーパーの牧井君ですが今日はFWで先発出場、押さえの効いたシュートは見事でした。



2位パートの結果

2009年11月29日 会場 狭間グラウンド

担当コーチ 小松コーチ 帯同審判 三浦さん
準決勝 南八王子0-0 CBX PK3-2で決勝へ進出

相手チームCBXには勝ったことが無いと、選手の言葉でしたが試合が始まってみると南のペースで行われ榎本君、白石君、諸井君、矢嶋君のサイド攻撃が面白いように決まり得点のチャンスを作りました。相手の突破力ある2人の選手も小山君、今川君、國廣君奈良君がしっかりと抑えました。PK戦も春日君が2本止めで勝利に導きました。

決勝 南八王子 3-0 高尾 得点者 川崎君 矢嶋君 諸井君

先取点は開始3分、榎本君と矢嶋君のワンツーパスから矢嶋君がクロスをゴール前に入れよく詰めていた川崎君がヘディングシュート。7分にはコーナーキックを矢嶋君がヘディングシュート。後半に入ると皆益々力を発揮し、5分には諸井君のドリブル突破からキーパーをも抜きシュートを決めました。小山君のドリブル5人抜きシュートは会場を沸かせました。青木君のワンツーも良かったですね。川窪君も少しずつ調子をあげ相手選手にくらいついていました。ボランチ小澤君も良い連携をみせてくれました。

6年生は1対1に強くなってきています。声も良く出でいます。

b y 小松コーチ

ランウイズザボール

ドリブル突破

南の守護神

12月1日付の各紙朝刊より

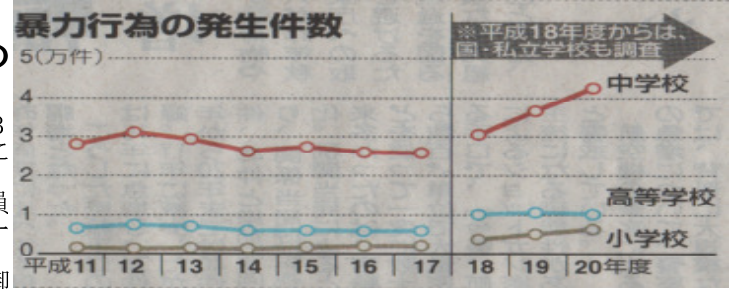
朝日新聞 “小中高生の暴力6万件”

報告件数はこの3年間で1.75倍になった計算だ。

文科省や教育委員会は「コミュニケーション能力の不足」「感情がうまく制御できなくなっている」といった子どもの気質の変化が背景にあるとみる。

同じ子どもが何度も暴力に及ぶケースも目立つというが、それでも、この数年の急増ぶりについては、学校現場も含めて答えを見いだせないでいる。

「子どもの思考がパターン化され、深く考えられなくなっている」というのは、国語作文教育研究所所長の宮川俊彦さんだ。「気持ちを表現する言葉の幅が狭くなっている。表現できない出来事とぶつかった時、感情や行動が激化してしまうのではないか」という。



産経新聞より

読売新聞 “突然キレて殴るける”

「意思疎通が下手で、言葉にする前に手が出る子供はますます増えている」。神奈川県的女性カウンセラーは話す。

産経新聞 “暴力行為激増 小学生も最多”

宮川俊彦国語作文教育研究所所長は「インターネットやテレビの言葉の荒れ、感情や感覚の直接的な表現が主流になっている」と、暴力の背景に最近の言語状況があることを指摘。「影響を受けた子供は深い思考や、自分の感情をいったん一旦受けとめてから表現することをしなくなる」と話す。

明石要一千葉大学教授は、「家庭裁判所の裁判官によると、“キレた”子供の多くは、小学3、4年のころに仲間と秘密基地を作るといった“チョイ悪”の経験を持っている」という。

「善悪の判断をせずに体だけが大きくなり、教師や仲間と対立したときに自分を押さえて引くことができない。今の中学生は節分でも鬼役をしたことがないような育て方をされた世代ではないか」と明石教授は指摘している。

岡田 尊司さんの『脳内汚染』を読んでいると“やっぱり”と思います。『三間』（一緒に活動する仲間、活動する時間、活動する空間）が大切ですね。みんなで群れてぶつかり合う中で、めざすサッカーを創りあげる楽しさ、充実感を味わい、コミュニケーション能力や相手を思いやる気持ち、自分の感情をコントロールする力も身につけてほしいですね。南の活動はその『三間』を提供しているのです。みんなでチームのめあてを確認し、“ああだこうだ”と言い合って、その達成をめざす中で優しく強い子になってほしいですね。